

環境の都ニュース

2022.4.1 NO.111

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：西村日出男

編集者：安楽 裕子

慈悲をつなぐ力に

京都西山短期大学 学長 加藤 善朗



連日テレビニュースで報じられるロシア軍によるウクライナ侵攻を見て、悲しさと無力感に苛まれているひとは多い。

全世界がネットワークで繋がれた、いわば衆人環視のもとで、民家やマンションや病院、学校が爆撃され、瓦礫のなかから救出される人びと。

子どもの遺体を抱いて嗚咽を漏らす若い母親。トランクを引きながら、ぬかるみを歩く難民の列を目の当たりにしている。

一体これが21世紀の現実なのかと眼を疑い耳を疑うことばかりだ。

どのような理由があろうとも、軍事侵攻は正当化されるものでない。

一党独裁、専制政治がいかに危険なものであるかということをつまやかにしたと同時に、食糧や燃料、ひとびとの衣食住を満たす資源の確保ということが、いかに大切なことかということをつまやかにした。つまり暮らしの環境を考えることこそ、今の私たちにできることなのだ。

戦火によって家族、財産、家、失った経験がないものに、どんなに想像力のかぎりを尽くしたとしても、今、ウクライナの人々の悲しみへの理解には至らない。

ただ、仏教で言う〈慈悲〉の語源のひとつ「カルナー」とは、呻き声の意だという。

五木寛之は、こんなふうには語っている。

「他人の痛みが自分の痛みのように感じられるのにもかかわらず、その人の痛みを自分の力でどうしても癒すことができない。その人になり代わることができない。そのことが辛くて、思わず身体の底から「ああ」という呻き声を発する。

その呻き声がカルナー」なのだという。

11年前、東日本大震災に際したとき「家族を死なせた人も、被災しなかった人も、それぞれに頭を低く垂れて、犀の角のように歩んでいこう」と高村薫が書いている。

2500年前のブッダの言葉を伝えるスッタニパータはいう。

「犀の角のようにただひとり歩め」と。

ただし、ウクライナの戦火が止むことを願い、支援を志す私たちは、ひとりではない。



ビオトープ PJT

竹の子、沢ガニ、竹藪、爽やかな自然が君を待っているよ！

～2022(令和4)年度 すくすく教室のご案内～ PJTリーダー 神山 忠



この2年間、新型コロナに振り回され、一步前進、二歩後退といった状況の中で、学年を跨った子供たちの放課後自然体験学習は一度も開くことが出来ず、残念でした。新しい年度を迎え、“今年こそは”の意気込みで環境の都づくり会議は新年度のすくすく教室の準備をしています。是非、一緒に自然の中で楽しく遊びながら地域の自然の今を学びましょう。春は筍が君を待っているよ！

詳細は教育委員会生涯学習課からのお知らせをご覧ください。

筍掘り体験	長岡天神公園内竹林	4/9・4/16・4/23・4/30
小泉川自然観察	西代橋上流小泉川	6/11・7/23・9/10
竹炭焼き体験	光明寺北側竹林	11/19・12/10・1/14・2/18

花を咲かそう PJT

3月初めの公園の花壇はまだ冬ごもり

PJTリーダー 奥西弘武

「ピオラちゃん元気してる？ この冬は支援学校の生徒さんが来なくてさみしいよ」
 「コロナが収まらないもんだから・・・」
 「ナデシコさんこそ大丈夫？ 葉っぱも花も霜焼けでポロポロよ」
 「そうそう、緑のサポーターが大拳して草引きにきてくれた時は土がカチンカチンに凍ってたよ」
 「ガリガリ削って綺麗にしてもらったよね」「今は、私たち根を張って耐えるんだよねえ」
 「4月になればノースポールちゃんたちも一緒に見違えるほどきれいに咲いて見せるわ」
 「それと、周りを囲んでくれてる小菊さんが言ってたわ」
 「10年住んでいるけど、仲間が増えてないの。
 新芽の枝を持ち寄ってくれないかねえって」



竹林再生 PJT

環境にやさしい放置竹林整備を続けて17年・・・

PJTリーダー 湯川圭造

環境の都づくり会議が今年20年を迎えましたが、放置竹林整備作業も17年になり、整備した数は12ヶ所、約30,000㎡(約9,000坪)になります。年間50日ほどをかけ、毎回10～15人のメンバーで整備しています。間伐作業はほとんど鋸での手作業です。長さ15～20m、太さ15～20cmの竹は密生した竹林の中では倒すだけでも一苦労。そして、間伐した竹の処分は焼却が一般的ですが、私たちは10年程前から環境に配慮して、極力チップにしたり消し炭を作って、竹林に散布したり、畑などの土壌改良などに利用しています。また、竹を有効活用して、“竹あそび”を企画したり、市民の行事に竹や竹の玩具、笹などを提供しています。一方で、竹林を子供たちに開放して、筍掘り体験や竹伐り体験、フィールドアスレチックにも利用しています。これからも行政、企業、市民の皆さんの力を借りて、地域の環境保全や環境への啓蒙活動を続けていきたいと思っています。



▲竹の搬出



▲消し炭袋詰め作業

◀左から
フェンス修理・山盛りのチップ・チップ作業



西山は春先が一番良い季節です。行く道ではタンポポ（黄色）、キンボウゲ（黄色）、ショウジョウバカマ（紫、白色はめずらしい）山ではコバノミツバツツジ（ピンク）、ササユリ（ピンク）が咲き、オオルリも鳴き始めます。カヤラン、クモラン、キンランなどの希少種に、また昆虫では金属光沢のハンミョウに出会えるかもしれません。

自然観察指導員京都連絡会の皆さんにご指導を受けますのでご期待ください。途中で見本として採取した植物や動物をみんな集まって、観察や説明（「みせびらき」といいます）をしてもらえます（西山キャンプ場）。

コロナ禍で限定的な開催となりますが詳しくは市民広報4月号をご覧ください。

写真は2019年春の部です。

小学校で「SDGsって何」の授業

PJTリーダー 西村日出男

長岡京市環境の都づくり会議の代表として、2月16日に長岡第十小学校で5年生の「総合的な学習の時間」に「SDGsって何」の授業をしました。

以下は当日のシナリオです。

- 2年前の「すくすくキッズテン」でのSDGs教室を振り返る
- ピコ太郎のSDGs広報動画を視聴
- SDGsクイズを実施
- 17のロゴマークを説明
- 具体的活動として「使用済天ぷら油の回収」とSDGsの関係を説明
- また「竹林整備」とSDGsの関係を説明
- 間伐竹で作った竹ドミノ倒しを実演。最後に、



- みんなが、「よいと思うこと」を進んで取り組むこと。
- みんなが、仲良く、楽しく「つながって」取り組むこと。
- みんなで地球や世界がずっと続くような（持続可能な）取り組みをしましょうと訴えました。

「フードマイレージ」ってなに？

PJTリーダー 田原誠一郎

「フードマイレージ」とは、食料の生産地から消費者の食卓に並ぶまでに輸送してきた距離のことで、「食料の輸送量（t）×輸送距離（km）」で表します。

例えば、5tの馬鈴薯を100km輸送する場合「フードマイレージ」=5×100=500t・kmです。私たち京都の住民が、北海道の馬鈴薯を食べるときのフードマイレージは、京都で地元の馬鈴薯を食べるときの10倍以上になります。

フードマイレージの数値が高いことは、食料が運ばれる距離が長いことを表します。

その結果、輸送に関わるエネルギーや燃料の使用が増えるため、二酸化炭素CO₂の排出量が増加して、環境汚染や地球温暖化の加速につながり、大きな災害の原因になります。

長岡京市には農家の方の直売場やスーパーの特設売り場などで、地元の野菜をたくさん売っています。

買い物をするときはぜひ「この食料品はどのくらいの距離を移動してきたのかな？」と、考えてみてください。

買い物は近くのお店で地元の産物を買きましょう。



不動産売買・賃貸・仲介・管理

「心こそ大切」信頼の

渡辺住販

代表者 渡辺 久司



京都府知事(9)7212号
〒617-0814 京都府長岡京市今里蓮ヶ糸42-5
Tel.075(953)2717 Fax.075(954)7912



BACH
PHOTOGRAPHY

バッハフォトグラフィー



ポートレート・宣伝/商材・法人向け撮影
結婚式・就活・婚活・オーディション
成長記録イベント・伝統工芸/芸能

080-2515-1861

巧みなライティングでランクアップのお写真を!

20周年記念誌発行・動画配信のお知らせ

長岡京市環境の都づくり会議は、おかげさまで今年1月に発足20周年を迎えました。そこで『20周年記念誌』を発行し、各プロジェクトの活動や他団体との協働、会の歴史など会についての、みなさまからのお声も「メッセージ集」に取りまとめています。記念誌にメッセージをお寄せいただいた方、広告掲載の企業さま、活動へご協力いただいているみなさまへは個別にお渡ししておりますが、その他ご希望の方は会へその旨をお知らせください。（冊数に限りがありますので、ご了承ください。）

また、記念誌発行に併せて、活動紹介の動画を自分たちの手で作成しました。初めての動画作成へのチャレンジでしたが、会員が撮り溜めた写真や動画を素材にして楽しくわかりやすい動画になったのではと思っています。ぜひ視聴ください。



※京都府ホームページや地域カメルマガ等の広報ツールで後日、配信される予定です。（「京都府地域交響プロジェクト」のYouTubeアカウントからアップロードの予定）

動画の後半でウリ坊（イノシシの子供）の鳴き声が入っています。聞こえるかな？



新春
クロスワードパズル

解答

ワクチン

か	ら	す	ぐ	ち	ひ
さ	ん	ま	く	し	ろ
に	と	う	り	ゆ	う
お	ん	ら	い	ん	す
か	ぐ	る	え		
く	い	す	ず	が	わ
ら	ん	し	い	お	ん



ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越聡

2022年環境年間行事日程 直近版(4月~6月)

共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	ここCOライブ、等
4 環都ニュース発行(4/1)	森林ボランティア(4/3)		筍掘り(毎週月水金) すくすく教室筍掘り(4/9,16,23,30) 向日が丘支援学校筍掘り(4/19)			SDGs 記事掲載
20周年記念誌発行(4/1)	森林ボランティア(4/17)					
月例会議(4/12)	西山F環境探検隊(4/30)		3PJT 合同例会(4/15)			
5 環境の都年次総会(5/7)	森林ボランティア(5/1)		市民向け筍掘り隊(5/1) 市民向け体験会(第1、3日曜) 竹林整備活動(第2、4月曜)	花壇整備(5月中旬)		
	森林ボランティア(5/15)		3PJT 合同例会(5/20)			
6 月例会議(6/14)	森林ボランティア(6/5)		市民向け体験会(第1、3日曜)			
	森林ボランティア(6/19)	すくすく教室・川遊び(6/11)	竹林整備活動(第2、4月曜)			
			3PJT 合同例会(6/17)			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは西村まで。Tel.080-3825-2460
E-mail sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：西村日出男宅内
〒617-0817 長岡京市滝ノ町2-20-6

ホームページもご覧下さい。各PJTの活動内容写真などがあります。



編集後記

戦争は環境破壊の最たるものです。CO2を減らすために、世界をあげて取り組んでいるのに、一人のエゴで尊い命と地球環境が破壊されています。「数学の日にくらぶと思う戦犯の頭文字こそ次なるコロナ」(西村)